

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度南海トラフ地震対策用広域監視システム検討業務
業 務 概 要	監視カメラ（C C T V）必要箇所の整理 1 式、既存監視カメラ（C C T V）の課題整理 1 式、監視不足箇所映像情報補完方法の検討 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東 2－1 0－7
契 約 年 月 日	令和 7 年 6 月 1 2 日
契 約 業 者 名	（株）建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名 2－4－1 2
契 約 金 額	1 6，9 9 5，0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	1 6，9 9 5，0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東 2 丁目 1 0 番 7 号 九州地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 7 年 6 月 1 3 日
履 行 期 間（至）	令和 7 年 1 2 月 2 4 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度南海トラフ地震対策用広域監視システム検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 九州地方整備局
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」、「国土交通省南海トラフ巨大地震対策九州ブロック地域対策計画【第1版】」、「九州道路啓開計画（第2版）令和6年12月」等を元にして、被災状況の把握や津波監視および広域監視が必要な箇所の抽出を行う。

また、その結果をもとに既存CCTVカメラの監視不足箇所を抽出し、監視不足解決に向けた映像収集・監視方法の検討を行うものである。

- 2) 業務の内容

- | | |
|----------------------|-----|
| ・ 監視カメラ（CCTV）必要箇所の整理 | 1 式 |
| ・ 既存監視カメラ（CCTV）の課題整理 | 1 式 |
| ・ 監視不足箇所映像情報補完方法の検討 | 1 式 |

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「南海トラフ巨大地震を想定した重要監視箇所抽出のための留意点、着眼点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「南海トラフ巨大地震を想定した重要監視箇所抽出のための留意点、着眼点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されているとともに、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示され、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4 第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

防災室長 坂本 二俊